

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし 県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1479-1-103

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp

vol.6

2020年10月

令和2年9月定例会 農林水産商工常任委員会



佐賀玉屋に8040万円を投入!

今議会に上程された「中小企業 DX フラッグシップモデル事業」は、佐賀県の老舗百貨店である佐賀玉屋に、新型コロナウイルス対策予算として8040万円を投入するという内容です。

この事業は、佐賀県の小売業の老舗である玉屋が、ITを活用してDX（デジタル・トランスフォーメーション）化を行い、新しい時代の経営形態を構築するための事業です。また、この事業は玉屋を第一弾としてモデルを示し、今後は佐賀県内の飲食業、製造業など幅広い業種に、DX化を広げていくための布石であり、コロナ禍を踏まえた、全国でも先進的な事例です。そして、この事業は来年度に計上する予定のものを半年前倒して提案しております。今後の事業展開を見据えても、失敗できない事業であり、県庁

はもちろん、玉屋の本気度も問われます。委員会では、県庁が前倒してでも提案した理由や、玉屋を選んだ理由、今後の事業展開の展望などを質問しました。

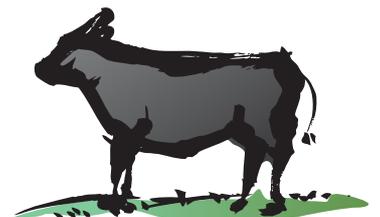
佐賀牛を守れ!

佐賀牛は品質が良く、私も食べられる機会を楽しみにしております。

しかし、今の時期は、本来であればオリンピック需要もあり、佐賀県も世界中の観光客で溢れる時期であったはずですが、新型コロナウイルスの影響で佐賀牛の肥育農家も大打撃を受けております。

そこで、肥育農家の支援として、経営悪化した際の補填金である牛マルキン（肉用牛肥育経営安定交付金）が過去最高額で発動し、佐賀県独自に創設された佐賀牛等肥育素牛導入緊急対策事業を活用した支援などが行われております。

また、より優秀な佐賀牛を生産するために試験的に導入された、遺伝子組み換えではなく、安全に遺伝子情報から能力を推定する「ゲノム育種価」についても、農家が活用しやすい制度構築をすべきであり、これらの支援策の今後の在り方について質問を行いました。



その他の質問項目

○農村ビジネスの推進について

国策で展開されている6次産業化は、全国的に苦戦しています。そのような中、佐賀県における6次産業化は「農村ビジネス」という名称で展開されており様々な成果が出ています。この農村ビジネスにおける課題、支援体制のあり方、県・市・町との連携や、今後の展開について質問しました。



一般質問
の動画は
こちら

活動報告写真

7月



7月11日(土)

全国の仲間から運ばれた災害支援物資を熊本県宇土市の拠点へ運搬し夜中に到着。この拠点が始動して私達が初運搬したとのこと。朝方には全て熊本県民によって、人吉方面に運ばれて行きました。



武雄温泉(仮)駅



長崎駅

7月13日(月)・31日(金)

新幹線問題対策等特別委員会の視察。13日は武雄温泉駅・嬉野温泉(仮)駅・長崎駅を視察。31日は、鹿島市を視察し、市・議会・観光協会・商工会議所の皆様との懇談会を開催しました。国が進めようとしているフル規格整備に向けて、待望論と慎重論の両方からご意見をいただきました。

8月



8月1日(土)

本鳥栖町水影天神社の祭典。今年は茅の輪づくりに参加できませんでしたが、地域の皆さんと、無事に無病息災を祈願することが出来ました。



8月20日(木)

佐賀県議会 DX 研修会を開催しました。私を含めて3人で企画した勉強会に25人ほどが参加。ITが突き動かしていく新たな時代を予感させる研修会となりました。

打ち上げ花火

青年会議所の主催で、鳥栖三養基で4箇所。小郡市内では19箇所同時での打ち上げ。何も出来なかった今年の夏、唯一のイベントでした。ありがとうございました。



9月



9月6日(日)

避難所まわり台風10号は「最大級の警戒」という報道であり、鳥栖市内の避難所開設は過去最高の箇所数で警戒しておりました。避難所への移動に関して、多くの問い合わせをいただきましたが、大きな被害がなくてなによりでした。佐賀県も知事出席のもと、3時間毎の対策会議を行い、状況把握と警戒にあたりました。



9月22日(火)

街頭演説
野党再編により、私は立憲民主党に合流することしました。枝野代表、原口・大串両代議士を迎えての街頭演説会。私は司会者として、30分くらいマイクを握り続けました。



イノシシ減容化施設



トマトのトレーニングファーム

9月23日(水)

「イノシシ減容化施設」(武雄市)
「トマトのトレーニングファーム」(鹿島市)を訪問。武雄では猪の肥料化という全国初の挑戦が行われてます。鹿島では新規農家の育成現場を見せていただきました。スマート農業もどんどん進んでいました。

あしがき

9月に41歳の誕生日を迎え、本厄真っ只中です。いにしえから伝わる先人の戒めを踏まえて、心と体の管理には気を付けないといけないと、注意を払いながら活動しています。

また、アフターコロナがいつになるのかわからない状況によって、私の周りでも多くの相談事をいただいております。ウィズコロナの今を、如何に乗り越えるのかは、鳥栖市民だけではなく世界の課題です。とにかく共に今を乗り越え、次世代に向けた対策を、身近なところから創造しなければなりません。

今年はあまり夏を満喫することもなく、寒い季節に流れていきます。これから第3波が来るということも言われていますので、引き続き、個人個人が警戒しなければなりません。

皆様への感謝とご多幸をお祈りしながら、年末に向けて邁進して参ります



登録
お願
いし
ます



変更しました!

<https://lin.ee/opcwmAn>